



取材／読売新聞中部支社編集局 編集委員 片岡 太

名古屋記念病院 藤田 民夫 院長

# 「名古屋記念病院の新しい理念」について

地域医療に貢献し、地域の皆様から信頼される病院を目指す

名古屋記念病院（名古屋市天白区平針、藤田民夫院長）は、病院で働いている全ての職員が医療に取り組む基本的姿勢を示す新しい理念、基本方針、行動指針、患者権利宣言を作った。今回の理念の柱は、医の倫理を守り、患者さんの権利を尊重することにある。また、医療を医師やスタッフに任せるのではなく、患者さん自身も医療に積極的に加わってもらう患者さん参加型の医療を目指している。そのため、患者権利宣言では、患者さんの権利だけでなく、患者さんの義務も取り上げるなど他の医療機関にはない先駆的な内容になっている。理念を作成したことを契機に「安心」と「安全」な医療の確立と、地域医療に貢献し、地域の患者さんから信頼される病院を目標にしている。藤田院長に今回の理念制定までの経緯について詳しく聞いた。

Q. 今回、名古屋記念病院の理念を新しく作りましたね。そのことについて話してください。

藤田院長／名古屋記念病院は1985年に開院しましたが、開院当時と現在を比べると医療そのものや病院を取り巻く環境は大きく変化しています。このため、今の医療や病院にふさわしい理念を作る必要があると判断し、今回、新しい理念を作りました。

理念を作るに当たっては、プロジェクトチームが中心になりましたが、それで決定というものではなく、医療現場で働いている職員が納得した形のものではなくてはなりません。そうでなくては、理念そのものに実効性はなく、形骸化したものになります。そうしたことを避けるために職員全員の意見を広く集約して作りました。

Q. できた理念は満足すべきものですか。藤田院長／良くできた内容だと思っています。

Q. 具体的にお聞きます。まず、理念について説明してください。

藤田院長／理念の内容は「私たちは、優

しさと安らぎを提供し、地域の皆様から信頼される病院を目指します」と患者さんと、地域医療を重点としました。患者さんを治療する上で、最良、最適な治療を提供することは医師として当たり前のこと。患者さんもそうしたことを求めていると思います。しかし、その一方では、病院に対して「優しさ」と「安らぎ」を求めていると思います。こうした患者さんが求めていることに答えた結果が、「優しさと安らぎを提供する」という文言になりました。

Q. 「地域の皆様から信頼される病院」という文言もありますね。

藤田院長／名古屋記念病院は、開院以来、「地域医療への貢献」を基本的な姿勢として「地域住民からの信頼」を求めて医療に取り組んできました。この変わらぬ名古屋記念病院の医療の姿勢を明確に言い表しました。

Q. 基本方針がありますね。